

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症

中国・武漢市から発生し、その後、世界的流行(パンデミック)を引き起こしている新型コロナウイルス感染症。シンガポールでも令和2年1月23日に初めての感染者が確認され、4月以降、その数が急増しています。

今回は、世界各地で感染が広がっている新型コロナウイルス感染症に関し、シンガポールの現状をお伝えします。

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の経緯

シンガポール政府は、2002年から2003年にかけて猛威を振るったSARS(重症急性呼吸器症候群)の経験を活かし、新型コロナウイルス感染症の水際対策を実施してきました。日本人を含む外国人の入国制限や入国後の隔離措置、オフィスなどの入り口での検温等を早い段階から実施して感染拡大を抑え込み、一時は感染抑制の「優等生」と称されていました。ところが、4月に入り状況が一変します。市中感染や感染経路が特定できない症例が増加したことに加え、建設現場や造船所などで働く出稼ぎ外国人労働者の寄宿舎で爆発的な集団感染が発生し、3月下旬までは1千人未滿で推移していた感染者数が、その後の1か月余りで2万人を超える事態に至りました。令和2年5月7日現在で、感染者数は東南アジアで最多となっています。

2. 感染拡大の抑制策

新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、日本では緊急事態宣言が発令されましたが、シンガポールでも4月7日から6月1日まで「サーキットブレーカー」措置が発令されています。この措置は、人との接触を大幅に削減することを目的として、生活に不可欠な業種を除き、大半の職場や学校を閉鎖するものです。非協力的な企業には業務停止命令が発令されるという強制措置とも相まって、多くの企業が完全在宅勤務となっています。

サーキットブレーカー措置は個人の行動にも制限を課しており、食料品及び生活必需品の購入や医療機関への受診、ジョギング等の軽い運動以外は原則として外出が禁止されています。加えて、外出時は単独行動かつマスク着用が義務付けられ、違反者には罰金が科せられるため、買い物で外出する時でさえも恐々とする状況です。

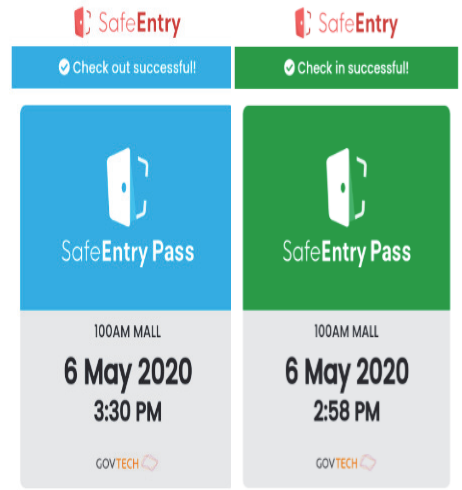
3. デジタル技術の活用

シンガポールは、国家戦略「スマートネーション」構想を掲げています。この構想は、IoTやICTなどデジタル技術とデータを戦略的に活用することで、国民社会の利便性向上や経済の発展を図ることを目的としています。スーパーマーケットや商業施設等の入り口では「セーフ・エントリー」という訪問者記録システムの導入が



義務化された「セーフ・エントリー」システム
入口で表示されたQRコードで入退場を記録

義務化されました。このシステムは、店頭に表示されたQRコードを携帯電話で読み取ることで、政府が運営する身分証明アプリにつながり、入退出をした人の情報が自動的に記録されるものです。新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、このシステムにより、素早く接触者を特定し追跡することができます。デジタル技術を駆使して感染拡大を抑制する取り組みや、システム導入の早さは、シンガポールならではの対策と言えます。その他にもシンガポールでは、スマートフォンのBluetooth（近距離の無線通信）機能を使い、感染者と近距離で接触した人を検出し、濃厚接触の可能性のある人を割り出す濃厚接触者追跡用アプリ「トレース・トゥギャザー」が利用されています。「トレース・トゥギャザー」は、日本でも開発されている濃厚接触者追跡用アプリのモデルとされていますが、シンガポールでは個人情報の扱いやプライバシー侵害の懸念からか、人口の約2割にあたる110万人ほどにしかダウンロードされていないのが現状のようです。



入退店を記録するアプリ「セーフ・エントリー」の記録画面

4. 終わりに

「観光都市シンガポール」から観光客が消え、毎日多くのビジネスマンで賑わっていたオフィス街やホーカーセンター（屋台街）が閑散としている光景を目の当たりにすると、新型コロナウイルスの恐ろしさを改めて実感します。

このような中、日本を含め全世界で広がりを見せている「MAKE IT BLUE」キャンペーンの一環として、マリーナ・ベイ・サンズをはじめシンガポールを代表する建物や橋などが、毎週木曜日に青くライトアップされることとなりました。新型コロナウイルス感染症の最前線で戦っている医療従事者などの方々に感謝の意を表すとともに、一日も早く事態が収束を迎え、シンガポールに元の賑わいが戻る日を願うばかりです。



ホーカーセンターの様子



青くライトアップされたマリーナ・ベイ・サンズ

【参考文献】

ジェットビジネス短信、現地報道、日本経済新聞

ここに記載されている情報は、情報提供を目的として作成したもので、何らかの勧誘を行うものではありません。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたってはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。